

富士電機時報

大正十三年五月一日

第一卷 第三號

内容目次 富士電機時報に對する希望——瓦斯體を通過する電氣——三相電動機の保護裝置——整流子電機の改良——遠心力應用遮斷器の新型に就いて——三相電力輸送の計算——電氣的自動區間閉塞裝置——編輯部より

富士電機時報に對する希望

今春創刊の「富士電機時報」を見るに獨逸國に於ける電氣に關する最新の有益なる學理と技術とを迅速に本邦に紹介するにあつて最も時宜に適した計畫であり之に因つて電氣學術界に寄與せらるゝ所が多大であると思ふ。現今我國の産業は原料及勞銀高に苦んで海外市場に於ける競争力も從て甚しく弱められ之に伴ひ輸出貿易が振はない、此局面を打開するの道は他の方法で生産費の低下を企圖するの一途あるのみで、幸ひ我國は天與の豊富なる水力があり之により安價な原動力たる電力の應用を盛にし經濟生活の總てに亘り能率を増進することは此目的を達するに最も必要で又最も有力なる手段である。近時各方面に亘り電化範圍の目醒しき擴張を見つゝあることは喜ばしい現象である。此意味に於て本誌が克く其使命を完成せんことを望む次第である。由來我國學界は歐米先進國に負ふ所多く而も我より之に酬ゆる所少ないのは遺憾とする所である。我國は世界有數の水力國であるが、冀くは之と並行し大に電氣學術を振興し我國に於て研究せられたる電氣に關する學理及發明が本誌を通じ陸續世界に紹介せらるゝの日を希望して止まないものである。

大正十三年五月

工學博士 山川義太郎



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。